

2018年の夏休み  
**こども映画館**  
 KIDS★CINEMA

7月25日(水)  
 27日(金)  
 28日(土)

< Fシネマ・プロジェクト >  
 こども映画館  
 スクリーンで見る日本アニメーション!



『パンダコパンダ』

1972年/35mm/35分

かんとく：高畑勲

おばあちゃんとふたりぐらしの女の子・ミミ子。おばあちゃんがおでかけするので、しばらく一人であるすばんをすることになったミミちゃんのおうちに、なんとパンダのおやこがやってきました！ミミちゃんとパパンダ、コパンダの楽しい生活がはじまります！



『パンダコパンダ雨ふりサーカス』

1973年/35mm/39分

かんとく：高畑勲

いっしょにくらせることになったミミ子とパパンダ、パンちゃんのいえに、ある日トラの子のトラちゃんがまよいこんできました。みんなはすぐになかよくなりますが、トラちゃんはサーカス団からにげだしてきたことがわかってさあたいへん！

高畑勲(たかはた いさお)  
 かんとくのこと

みんなは『火垂るの墓』や『平成狸合戦ぽんぽこ』の映画をみたことがありますか？これらの映画をつくったのが、高畑勲かんとくです。高畑かんとくは、『となりのトトロ』や『千と千尋の神隠し』で知られる宮崎駿かんとくといっしょに、スタジオジブリという会社で、日本だけでなく、世界中で愛されるアニメーション映画をたくさん作りました。高畑かんとくは、ことしの4月になくなりましたが、かんとくの映画はまっとういまでも見た人の心にのこるでしょう。

『パンダコパンダ』は、高畑かんとくと宮崎かんとくが、ジブリをつくるずっと前の若いころに作った映画です。



『パンダコパンダ』がつくられた1972年、日本では、パンダとかんけいのある大事なニュースがありました。さて、それはなんでしょう？おかあさんやおとうさんやおばあちゃん、おじいちゃんにたずねてもらってかんがえてみよう！

はじめまして、映画館

お子様の映画館デビューについて、いつにしようか、どの作品にしようかお考え中ではありませんか？また、既に映画館に行ったことはあっても、周りに迷惑をかけてしまうのではないかと、つい躊躇ってしまっていないですか？



当館では、そろそろ映画館で映画を見せてあげたい、でも暗闇を怖がったり途中で泣き出したりしてしまわないかちょっと心配、というお子様と保護者の方に向けた上映会を開催します。少し明るめの場内で、お母さんとお話ししたり、泣いてしまっても大丈夫な環境なので、周囲に気兼ねなく映画を楽しんでいただけます。上映後は、劇場内で記念撮影ができるコーナーも用意しますので、お子様の映画館体験を是非思い出として残してあげてください。

日時：7月25日(水) 10時~11時30分

会場：鎌倉市川喜多映画記念館 映像資料室

対象：未就学児と保護者

参加費：保護者1人につき1000円 \*お子様は無料です

定員：51人

申込方法：7月1日(日)より、電話で受付いたします。

①お名前 ②人数 ③年齢 ④ベビーカーの有無 ⑤電話番号をお伝えください。

こども映画館

お友達同士やご家族で楽しんでいただける、『パンダコパンダ』2作品の上映会です。上映前・上映後には、スタッフが進行役となって映画や監督にまつわるお話をしたり、みんなで感想を話し合う時間もあります。

※暗さや音量などは通常どりの上映環境になりますので、未就学児で不安のある方は「はじめまして、映画館」をご利用ください。



日時：7月27日(金)、28日(土) 10時~11時30分

会場：鎌倉市川喜多映画記念館 映像資料室

対象：3歳以上のお子様(大人の方一人での参加はできません)

参加費：500円

定員：51人

申込方法：7月1日(日)より、電話で受付いたします。

①お名前 ②人数 ③年齢 ④電話番号をお伝えください。



お問合せ先は裏面へ→



鎌倉市川喜多映画記念館

Kamakura City Kawakita Film Museum



2018年の夏休み

# こども映画館

KIDS★CINEMA

8月3日(金)  
10時~12時  
対象:小学生

< Fシネマ・プロジェクト >  
こども映画館  
スクリーンで見る日本アニメーション!

むかし

おと

こと ば

## 昔のアニメに音や言葉をつけてみよう!

みんながテレビや映画でしている「アニメーション」が日本で生まれたのはいつだと思いますか?

正解は「101年前」!なんと日本のアニメーションは今年で101才をむかえます。

昔の映画には、音や言葉がついていませんでした。なので昔は、映画を見るときに、横にセリフを話す人がいたり、音楽をえんそうしたりしていました。

このワークショップでは、生まれてから80才や90才や100才になる昔のアニメーションを見て、そこにどんな音や言葉をつけたら面白いかをみんなにかながえてもらいます。グループワークのあと、さいごにはみんなの前で発表もするよ!昔と今をつなぐたのしいワークショップです。ぜひ参加してみてください。

日時: 8月3日(金) 10時~12時  
会場: 鎌倉市川喜多映画記念館 映像資料室  
対象: 小学生  
参加費: 500円  
定員: 20人  
申込方法:  
7月15日(日)より、電話で受付いたします。  
①お名前 ②学年 ③電話番号をお伝えください。

講師は **有田栄** 先生です!  
(昭和音楽大学教授)



### 上映する作品 (NFAJ短篇集-さまざまな手法-)



1917年/35mm/4分  
かんとく: 幸内純一(こううちじゅんいち)  
今、私たちが見られる日本で一番古いアニメーションです。刀を買ったおさむらいさんが、その切れ味をためそうとするもの…はたして刀はよく切れるのかな? 協力: 松本夏樹



1926年/35mm/3分 ※不完全版  
かんとく: 大藤信郎(おおふじのぶろう)  
アニメーションと実写をおりませた、とても新鮮で画期的な作品です。おじさんとおじょうさんがタバコをめぐっていざ、勝負!



1929年/35mm/15分  
かんとく: 村田安司(むらたやすし)  
イソップ童話の「アリとキリギリス」のおはなしに、ヒキガエルのおじいさんやチョウチョウのおねえさんも加わります。切り絵でえがいたとは思えない、せんさいな技法にびっくりぎょうてん!



1935年/35mm/4分  
かんとく: 荻野茂二(おぎのしげじ)  
花や草が成長する姿を、△(三角)や○(丸)、直線などの図形をつかって表現しています。心地よいリズムでかっこいい作品だよ!

主催: 川喜多・KBSグループ (鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者) / 一般社団法人コミュニティシネマセンター / 国立映画アーカイブ / 文化庁委託事業平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 特別協賛: 木下グループ



### Fシネマ・プロジェクトとは…

映画のデジタル化が進行する中で、多くの映画館からフィルム映写機がなくなり、フィルムで映画をみる機会は急速に減少しています。「Fシネマ・プロジェクト」は、フィルムの上映環境を確保し、フィルムで映画をみる素晴らしさ、面白さを伝えるためのプロジェクトです。

### 申込・問い合わせ 鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-2-12

TEL: 0467-23-2500

HP: <http://www.kamakura-kawakita.org>

開館時間: 9:00 ~ 17:00

休館日: 毎週月曜日 (祝日の場合は開館)、7月17日(火)

※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。 ※個人情報には本イベントのために使用し、他の目的に使用することはありません。

